

平成 23 年 5 月 20 日

各 位

NPO・セルフメディケーション推進協議会 専務理事
東日本大震災救援対策委員会委員長
村田 正弘

SMAC「健康支援隊」の趣旨とボランティア公募について

セルフメディケーション推進協議会は 2002 年設立された非営利活動法人(NPO)です。会員は医師、薬剤師、保健師、健康運動指導士など健康に関連する専門技能資格者を主に構成され、関連する業界団体や行政の協力を得て、一般消費者、生活者の健康維持促進を支援してきました。しかし、国民皆保険制度の日本においては、具体的な実践については関心が低く、SMAC は関連する調査・研究活動など学会活動が中心でした。

しかし、近年生活習慣病の増加、それによる医療経費の増大に危機感が高まり、健康増進法に基づくメタボリックシンドローム対策など予防医療について国、自治体も真剣に取り組むようになってきました。

3 月 11 日発生しました東日本大震災は未曾有の被害をもたらし、生活基盤の完璧な破壊に加え、医療・健康維持についても深刻な影響を与えました。当 SMAC は被災地の救済に役立つことを念頭に、救援対策を検討し、日本ジェネリック医薬品学会の医薬品緊急搬送に参加協力しました。その後事態は福島原発による被災者も含めた避難所における生活環境、復興支援へ移行しています。SMAC の理念、また実践への行動が問われる段階になりました。このため SMAC 東日本大震災救援対策委員会を発足させ、本部を千代田区紀尾井町に開設し、「健康支援隊」活動を開始しました。

上記の医療・健康関連のプロの提携による被災者を含む生活者に対し、運動・食事を基盤とした生活環境の維持と疾病予防、軽疾患の OTC 医薬品等による措置、回復を説明し、支援する活動を行っています。現在、福島県郡山市、埼玉県幸手市、東京都江東区等の自治体、援助団体等と協議しながら対象地域、施設を選定しています。

本活動の最終成果は支援する人材の確保にあります。つきましては貴団体、貴協会の会員、関係者の参加にご協力をお願い申し上げます。大学においては、既卒の有資格者へのお呼びかけ、在学学生に対してもご説明くださればと存じます。